

厚労省
「人材開発支援助成金」
対象範囲拡大！大企業も
対象になりました！

第21回BPR（業務再構築）責任者養成塾

～儲けるための「正しい仕組づくり」を担うのがSE～

！ITベンダのSE向け。モノづくり企業の「BPR担当SE及び幹部社員向け」管理技術の育成塾
ICTの利活用で「在庫20%・人件費8%・材料費1%」削減。利益率5割UPを実現する方策を学ぶ！

受講対象者（モノづくり企業の社長後継者・幹部社員、BPR構築責任者、実務経験5年以上のITベンダSE）

- ・「2025年の崖」への対応を考えるモノづくり企業のBPR構築責任者、ITベンダーの幹部社員。
- ・ICTが活用されているが、在庫過剰、欠品発生等の改善が進んでおらず、改革のためのBPR構築責任者。
- ・正しい仕組づくりが分からず、トップ後継者・幹部社員の育成が必要な企業のトップ後継者候補・幹部社員。
- ・「御用聞きSE」から「提案型SE」に事業転換が必要なITベンダのSE。（顧客貢献の出来る、儲けるSEの育成）

管理技術による利益 一売上比2%の新たな利益（“経常利益率の5割増”）

【効果のモデル】

（例）年間売上高 100億円程度の企業

	内 容	計算式	予想利益	経験値
1	材料費の削減	50億円×1%	5,000万円	0.5～5%
2	在庫金額の削減	7億円×20% ×20%	2,800万円	20～50%
3	間接要員の能率向上（製造）	2億円×20%	4,000万円	8～15%
4	間接要員の能率向上（事務）	3億円×10%	3,000万円	
5	直接人員の生産性向上	10億円×5%	5,000万円	
			19,800万円	

注1）上記は1年間のメリットで、この利益は継続的に実現する。（定着化が続く限り）
注2）上記は金額換算出来る項目で、受注納期短縮、多種少量生産の実現、納期回答の迅速化、見積書の迅速化、製造期間の短縮、クレームの減少等々の金額換算出来ない経営効果もある。注3）ビジネスモデルの高度化・人材育成効果が大きい！！

日時・開催方法

日 時 ： 2020年 4月21日～2020年 7月14日 毎週火曜日 全12回14:00～17:00 （別添のカリキュラムを御参照下さい。）
方 法 ： TV会議方式オンラインセミナー（定員5社 限定）・・・マンツーマンの塾運営を目指し5年経過しました。
受講料 ： 15万円／人（「厚生労働省人材開発支援助成金」の対象講座。（後述参照）
申込締切日 ： 2020年 3月13日（金曜日）助成金申請のため締切日遵守ください（申請手続きは、お手伝いします）

本講座の開講目的

弊社は「（モノづくり企業）の競争力強化」を社是としております。

我国の1人当たりGDPは世界で26位と著しく競争力が低下しています。

要因は「管理技術の知識不足」と「開発方式の間違い」及び「人材育成の不足」です。

本講座は、これに正しい「解」をご提供いたします。

塾長 八木 弘泰

[本講座の特徴] —標準化の実務演習が大人気—

「実際原価」は
ウソの原価です！



では、「真の原価」
は、どのようにして
求めるのですか？

**リアルタイムで質問も出来る
“双方向型”の「塾」です。
移動時間も不要！**

※口頭でのご質問、その場からのチャットも可能
(Googleハングアウトを使用)

※双方向対話型講習と御社の課題解決の為、
[5社限定] での募集となります。

演習で実感してみませんか？

「管理技術」を使えば、自社の基準・標準化は、容易に実現できる！

作業標準の設定

工程管理の基本である
作業標準・標準時間の
設定を作業分析ソフト
を使用して特定品目の
設定を演習します。

ロケーションの設定

保管管理が不備では在庫
管理は出来ない。御社の
倉庫を対象にロケーション
を演習で設定します。

原価チャージの設定

「時間当たり単価」の設
定が出来てない企業が
多くなっています。御社
のチャージ(賃率)設定
の演習をします。

「受講者の声」

大手機械メーカー(東京)取締役工場長

40年前から生産管理のICT化を推進した
が「効果」が実感できず、10年前に
ERPに合わせた業務プロセスが正しい
とコンサルタントの指導を受けERPを導入
しました。

結果は混乱が続きカスタマイズを繰り返
し現在に至っています。

部下と共に今回の「塾」に参加し、正に
「目から鱗」で、抜本的な考え方の間違
いと、これからの対処を明確に知ること
が出来ました。講師の方々の熱意に
感謝します。

中堅食品製造業(大阪) 代表取締役社長

50年以上の歴史を持ち、利益率も業界平均より高
く、工場運営には、大きな不安はありませんでした。
今回の管理技術の知識は受け大きな衝撃でした。
各種の基準・標準化の根本的な間違いに気づき、
特に作業標準の間違いは、大問題で全ての幹部社
員に受講をさせるよう推進します。

中堅機械加工メーカー(名古屋)生産管理部長

「標準時間」の設定、「作業指導」の実施。
我々の「常識」が全く間違っており、先生方が
指摘される「間違ったことを一生懸命」実施し
ている現状に、目覚めました。

「基準・標準の無いところに管理は無い」当
たり前の事ですが、実現の方策が明確になりま
した。直ぐに取り掛かります。

事前サポートサービス(必要時)

ご用意頂く物：

1. パソコン、インターネット環境 (御社で御準備願います)
2. マイク内蔵型のWEBカメラ (無償貸与致します)
3. スピーカー又はイヤホン (無償貸与致します)
4. Googleハングアウトのインストール (無償サポート致します)

1. 必要機材の無償貸出 2. 事前接続テスト の実施

推奨要件：・クアッドコアプロセッサ Windows8以降のOS
・3.2mbps/4.0mbps (上り/下り) の
高速ブロードバンド環境



株式
会社

管理技術ラボ

FAX番号：0798-55-8779

必要情報ご記載後、上記FAX番号までご返信ください
または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です。

セミナー参加希望の方は必要事項をご記入の上、FAX送信いただくか、メールにてお申し込みをお願いいたします。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。
申込締切日：3月13日（金）

参加ご希望記入欄

☐ 受講する

☐ 詳しい説明を聞きたい

貴社名（必須）	ふりがな		
ご住所（必須）			
TEL（必須）		FAX	
部署・役職名			
ご芳名（必須）	ふりがな		
E-Mail（必須）			
部署・役職名			
ご芳名（必須）	ふりがな		
E-Mail（必須）			
部署・役職名			
ご芳名（必須）	ふりがな		
E-Mail（必須）			

【お客様の個人情報の利用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー (<http://www.kan-lab.com/policy.html>) に基づき、適切に管理いたします。

☐ 同意する

塾長

八木 弘泰

中小企業診断士
特種一種情報処理技術者



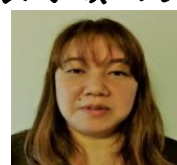
講師

吉川 正一



講師

長町 真由美



講師

八木 達也



50年間、6百社に及ぶ企業の業務再構築指導に従事し、又、企業診断業務は2千社を超える実績を持つ。
IT技術+「管理技術」で年商比2%の「新たな利益」の実現を目的に業務再構築指導で活動している。
1970年代に「死語」化した「管理技術の復興・普及」をライフワークとし各地でのセミナーは年間30回以上に及ぶ。

40年間、コンサル・SE経験を持ち、製造業を中心に数百社の業務再構築に従事、複雑系の仕組を「科学化」する才能の持ち主。「管理技術で利益の獲得」を担うASGUIDEツール開発の責任者(経産省システムアナリスト)

業務再構築指導は20年間に及び、指導実績も加工業から再生医療企業までの広範囲。職務分析技法の特許を取得 (ITPVC認定 ファシリテータ)

作業改善をベースとした標準時間の設定、在庫動態分析からのロケーション設定等々の「基準化・標準化」を専門とする管理技術コンサル

CHE

厚生労働省 人材開発支援助成金について

当該講座は「助成金」対象講座で、受講前の申請により助成があります。(受講料の半額弱の助成)

* 大企業も対象になりました。

参考HP: [厚生労働省「人材開発支援助成金」](#)



クリック

不明点はお気軽にお問い合わせください。



セミナーに関するお問い合わせ先

「塾」の運用企業



株式
会社

管理技術ラボ

Art & Science

TEL: 0798-77-2667

FAX: 0798-55-8779

URL: <http://www.kan-lab.com>

e-mail: asguide@kan-lab.com

[B P R（業務再構築）責任者養成塾]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
1	04/21(火) 14:00 ～17:00	キックオフ 管理技術による利益の獲得	1、塾の進め方と演習・補講について 2、管理技術とは 1) ICT投資の採算性と失敗要因 2) 一生懸命間違った仕事をやっている。 そのため一人当たりGDPは世界26位！ 3) 管理技術による利益の獲得 3、ICT技術と業務知識では100%失敗する
2	04/28(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 （生産計画、資材計画）	1、業務毎の管理技術（生産計画、資材計画） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 －生産計画は神業、資材計画は機械技！ （計画立案・検証・MRP・製番管理等） 3) 業務フロー説明（ASGUIDE分析記号にて） 4) アウトプットの例示 5) 演習
3	05/12(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（購買管理）	1、業務毎の管理技術（購買管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 －発注手配は95%自動化できる！ （95%以上の自動化と業者指導&開拓） 3) 業務フロー説明 4) アウトプットの例示 5) 演習
4	05/19(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（工程管理）	1、業務毎の管理技術（工程管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 －工程管理は作業指導！ （負荷山積み、作業指図・実績、作業指導・ モーションマインド・動作経済の原則） 3) 作業標準/標準時間の設定の説明 （作業標準・標準時間の定義と設定方法手順） 4) 業務フロー説明 5) アウトプットの例示 5) 演習
5	05/26(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（在庫管理）	1、業務毎の管理技術（在庫管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 －在庫管理の目的、低減✖、在庫精度維持○！ （ロケーション管理、出庫指示、循環棚卸等） 3) 業務フロー説明 4) アウトプットの例示 5) 演習
6	06/02(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（部品表管理）	1、業務毎の管理技術（部品表管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 －部品表の精度維持は100%！ （結合部品表、設変と手配切替、仕様展開等） 3) 業務フロー説明 4) アウトプットの例示 5) 演習

[B P R（業務再構築）責任者養成塾]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
7	06/09(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 (受注出荷管理)	1、業務毎の管理技術（受注・出荷管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 —目的は、製造・出荷依頼と生産計画源泉 3) 業務フロー説明 (受注、出荷指図、計画源泉、受注残維持) 4) アウトプットの例示 5) 演習
8	06/16(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（品質管理）	1、業務毎の管理技術（品質管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 —ライン化と日程化及び検査依頼書の自動化 3) 業務フロー説明 (検査指図／合否判定、ロット廻及等) 4) アウトプットの例示 5) 演習
9	06/23(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（原価管理）	1、業務毎の管理技術（原価管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 原価管理とは 3) 財務会計と原価管理 4) 管理方式の説明 —コスト低減と財務会計目的 (標準／実際原価・チャージ計算・原価差異) 5) 業務フロー説明 6) アウトプットの例示 7) 演習
10	06/30(火) 14:00 ～17:00	生産管理のI C T事例 (学習ライブラリで疑似体験)	1、生産管理のI C T機能とマンフローを 学習ライブラリを使用し、実機で学ぶ。 2、I C Tと人の役割をイメージする。 (生産計画の立案、MR P他を演習) 3. MRP等の計算ロジックを体得する。
11	07/07(火) 14:00 ～17:00	分析・設計・定着化・効果測定技術 の本当の技術を学ぶ（概要）	1、分析・設計・定着化・効果測定技術の 正しい考え方を学ぶ 1) 問題点の棚卸「現状分析の手法」 2) ルーティンワークの設計「基本設計の手法」 3) 例外処理と人の行動設計「詳細設計の手法」 4) ノウハウの科学化「データ構築の手法」 5) 設計通りに運用しない「定着化の手法」 6) 経常利益5割UP「効果の測定手法」 2. コンサルタントが持つべき「姿勢・心」
12	07/14(火) 14:00 ～17:00	管理技術 原理原則編のまとめ	1、成果発表 2、原理原則のまとめ